



SDGs15

陸の豊かさを守ろう

最近耳にすることも増えたSDGs（エス・ディー・ジーズ）。日本語では「持続可能な開発目標」といった意味になります。なんだか難しそう、自分には関係なさそうなSDGs。実は私たちがこれからも豊かな暮らしを続けるために必要な取り組みです。今回の特集はバードウォッチング。少し飛んでるかもしれませんが、SDGsともつながりがありそうです。



SDGsと生物多様性

SDGsは2015年の国連総会で採択され、2030年をゴールに「世界がこうあってほしい」という願いから生まれた世界共通の目標です。温暖化などの気候変動や世界規模での環境問題など、私たちの世界は多くの課題の中にあります。その危機感の高まりがSDGsが目目される理由といえます。

17あるSDGsの目標の一つに「目標15「陸の豊かさを守ろう」」があります。陸の豊かさというところ、木々の緑を思い浮かべますが、それだけでは自然が豊かとは言えないでしょう。公益財団法人日本生態系協会によると、生物多様性・自然生態系がSDGsの土台になるとしています。生物多様性とは、生きものたちの豊かな個性とつながりのこと。生物はお互いに直接的に、間接的に関わり合っています。私たちの生活の中には生物に由来するものが多数あり、生物多様性を守ることは私たちの暮らしを守ることもありません。

野鳥は自然のバロメーター

野鳥は生態系の上位を占める種が多く、自然環境の良好さを示すバロメーターといわれています。たくさん野鳥がいる地域は、自然が豊かで私たちも気持ちよく暮らすことができる地域といえます。

市の中央丘陵地の森を活用した「陶史の森」。森の中には池や小川、湿地があり、さまざまな生物の営みを見ることが出来ます。陶史の森では、そんな環境を生かして毎月バードウォッチング（探鳥会）を開催しています。ネイチャーセンター自然観察指導員の市岡敬さんは「野鳥のさえずりを聞きながら、朝の森を散歩するのはとても気持ち良く健康的コースの起伏は少なく、のんびりと歩くので、どなたにも参加しやすいと思います」とその魅力を語ります。陶史の森のバードウォッチングには、日本野鳥の会岐阜の方も参加しており、鳥を見つけたり声を聞いたたりすると「あれは○○だね」と、名前や特徴を覚えてくれるため、初心者にとっても参加しやすいそうです。約2時間のバードウォッチングの最後は「鳥合わせ」。その日出合った野鳥の種類や数を参加者同士で確認します。こうして種類や個体数の増減から自然の変化を感じ取ることが出来ます。

市岡さんは、SDGsや生物多様性を身近に考えるきっかけとして、バードウォッチングを提案します。「これから冬鳥が渡ってくる絶好のバードウォッチングの季節。木々の葉が落ち、野鳥の姿も見やすくなります。インターネットやテレビは遠く離れたことを知ることが出来ますが、今こそ身近な野鳥を通して、私たちの暮らしを考えてみませんか」



アオサギ
水辺で良くみられる日本のサギの仲間では最大の種



メジロ
ウグイスじゃないよ。目の周りが白いよ



ハチクマ
タカの仲間の夏鳥。ハチ類を食べクマタカに似るのが名前の由来



シジュウカラ
黒い帽子に白いほお。胸から腹の黒いネクタイが太いのはオス



ヤマガラ
胸から腹が赤みのある茶色。賢い鳥で、慣れると人の手からエサを食べることも



コガモ(左)は冬鳥
カルガモは留鳥



カワセミ
人気No.1? ニックネームは「空飛び宝石」



ルリビタキ
青い体は成長したオスの印



エナガ
白っぽい小さな体に長い尾羽。北海道にいるシマエナガは亜種



モズ
獲物を尖った小枝やトゲなどに串刺しにする習慣は「モズのはやにえ」として有名



イカル
大きな黄色いくちばしが特徴。夫婦仲が良くエサ探しも一緒に



キンクロハジロ
冬鳥。金色の目に黒い体と白い翼。見たままの名前



日本野鳥の会 岐阜 東濃ブロック
陶史の森リーダー 林 航さんにお話を伺いました。

Let's bird watching バードウォッチングしよう

服装

虫除け対策をした動きやすい服装がいいですね。靴は軽いハイキング用を。湿地があるので長靴でもOK。持ち物を入れるのにリュックサックなどがあると散策しやすいです。

マナー

大声を出したり、野鳥を追いかけ回したり、立ち入り禁止内に入って自然を壊すなど…。そんなことしませんよね。

準備するもの

- ・ 双眼鏡(ネイチャーセンターで借りることができます)
- ・ 飲料水(特に夏季は水分補給に)
- ・ 野鳥図鑑(判別などが楽になります。普段読んでいただけでも楽しいですよ)

陶史の森×バードウォッチング

年間で50種類以上の山野と水辺の野鳥が楽しめます。フレンドリーなベテランの方が親切に説明してくれて、最近では小学生や初めての方の参加が多いです。珍しい植物などもあって自然を満喫でき、誰でも気軽に安心して楽しめますよ。

メッセージ

バードウォッチングは、いつでもどこでも誰でも手ぶらで楽しめる気楽さが良いところ。野鳥を通して、自然と触れ合い、四季の移り変わりを感ずることが出来ますよ。